

加子母中学校で命を守る訓練（避難所設置体験）を行います

加子母中学校の全校生徒が、災害時に助けてもらう側ではなく、助ける側として行動できるように、命を守る訓練の一環として避難所設置体験を行います。加子母むらづくり協議会・加子母防災士会の方を講師として、学年ごとに様々な機材の設置体験と使用体験を通して、避難所の機能と役割について学びます。

■日 時

令和5年1月24日（火）10時30分～12時20分

■場 所

中津川市立加子母中学校 体育館・武道場（中津川市加子母3357番地）

■参加者

生 徒：全校生徒 53人

講 師：加子母防災士会 瀨瀬 輝己（こうけつ てるみ）さん 他6人

職 員：10人

■活動内容

10:30 ～ 11:50 体育館・武道場で避難所設置体験
・ 担架・車いすの設置及び仕様体験
・ マンホールトイレの設置体験
・ ダンボールトイレの作成体験
・ パーテーション設置の体験
等々

11:50 ～ 12:20 各学年の教室に戻り、振り返りをする

■その他

- ・ これまで「命を守る訓練」は、避難をすることを中心に取り組んできたが、中学生として、避難してきた人々をどう助けるべきかについて考える体験の場とします。

学 校 長：愛知 慶介（あいち けいすけ）

全校生徒：53人

お問い合わせ先

加子母中学校 担当者：教頭 佐々木

電話：0573-79-3019